X 1 % 0 1 + %	· • • • • • • • • • • • • • • • • • • •				- III -	車業し	ビ ¬ .	ーシート	<u> </u>		<u> </u>	١
		者に対する介護保険サ-				担当部		老健局		子工力		<i>/</i> 戊責任者
	減措置事業		終了 タフスウかし		,					介護保険計画課長		
事業開始年度	平成12年度 予定)年度 終了予定なし		なし	担当	課室	介護保険計 	介護保険計画課 			橋本 敬史		
会計区分	一般会	늦 計										
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-				関係 計画、		低所得者に対する介護保険サービスに係る利用者負担額の 軽減制度の実施について					
主要政策・施策	逐政策·施策 高齢社会対策						経費	社会保障				
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度以 内)												
		祖法人が法人の持ちと 合:国1/2、都道府県1/			介護保	険サービス	くの利用	者負担額の軽 源	找を行った場合	等に、当該費	用の一部につ	いて補助を行う。
実施方法	補助											
			28	年度		29年度		30年度		31年度	32	2年度要求
	予算の状況	当初予算	!	506		506		506		656		
		補正予算		_		-		_		_		
		前年度から繰越し		_		_		_		_		
予算額 •		翌年度へ繰越し		_		_		_		_		
執行額 (単位:百万円)		予備費等		-		_		-		_		
(十四:日2311)		計	,	506		506		506		656		0
		執行額	,	613	3			650				
		執行率 (%)	1	21%		127%		128%				
	当初予算+補正予算に対す		1	121%		127%		128%				
	る執行額の割合(%) 歳出予算目		31年度	度当初予算 32		32年度要求						
平成31·32年度 予算内訳	介護保険事業費補助金			656								
(単位:百万円)	計			656								
	定量的な成果目標			成果指標			単位	28年度	29年度	30年度	中間目標	目標最終年度
成果目標及び 成果実績	全保険者において実施す 活団		社会福祉法人等による生			成果実績	保険者数	女 1,168	1,146	精査中	_	_
(アウトカム)				困難者に対する利用者 坦軽減制度事業を実施		目標値	保険者数	女 1,579	1,579	1,571	-	1,571
		C 11/13		は一般である。		達成度	%	74	73	精査中	-	-
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	老健昂	局介護保険計画課調 [。]	~									
活動指標及び	活動指標						単位	28年度	29年度	30年度	31年度 活動見込	32年度 活動見込
活動指標及び活動実績(アウトプット)	社会福祉法人等による生計困難者に対する介護保険 サービスに係る利用者負担軽減制度事業の軽減対象 者数					活動実績	件	44,035	46,186	精査中	-	
						当初見込み	件	49,576	49,576	49,576	56,738	
単位当たり	算出根拠 第出根拠						単位	28年度	29年度	30年度	31年原	 度活動見込
						単位当たりコスト	千円	14	14	精査中		11
	「社会福祉法人等による生計困難者に対する介護保険 サービスに係る利用者負担軽減制度事業の執行額」/ 「軽減対象者数」					計算式	/	596百万円/44,035	626百万円/46186			万円/56738

高齢者ができる限り自立し、住み慣れた地域で自分らしく、安心して暮らせる社会づくりを推進すること 政策 |施策大目標1 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう必要なサービスが切れ目なく包括的に確保される地域包括 ケアシステムを構築すること |介護保険制度の適切な運営を図るとともに、質・量両面にわたり介護サービス基盤の整備を図ること(施策目標X-1-4) 中間目標 目標年度 定量的指標 単位 28年度 29年度 30年度 年度 年度 策評価 実績値 策評価 指 目標値 定量的指標 単位 28年度 29年度 30年度 中間目標 目標年度 経 済 本事業の成果と上位施策・測定指標との関係 財 低所得者に対する介護保険サービスに係る利用者負担額の軽減を支援することにより、低所得であっても必要な介護サービスを利用しながら安心し 政再 て生活し、要介護高齢者等の自立の推進が図られる。 生 計 取組 分野: 画 新 事項 ح の関 計画開始時 中間目標 目標最終年度 済 **KPI** 単位 30年度 31年度 (第一階層) 年度 年度 年度 第 201 成果実績 一 階 層 目標値 達成度 % 画 改革 本事業の成果と取組事項・KPIとの関係 I 程 表 事業所管部局による点検・改善 評価 評価に関する説明 項目 本事業は低所得者に対する軽減制度を行っており、それら 0 **■事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。** はきわめて重要でニーズがあり、国費を投入する必要があ 本事業は市町村が行う事業を補助する事業であり、国が実 **要投** 地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。 0 施すべき事業である。 性入 政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い 本事業では低所得者に対する軽減制度を行っており、きわ 0 の 事業か。 めて重要で優先度が高い事業である。 |競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。 -般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、 無 -者応札又は一者応募となったものはないか。 無 競争性のない随意契約となったものはないか。 受益者との負担関係は妥当であるか。 業 低所得者が介護サービスを受ける際の利用者負担額を減ら の 単位当たりコスト等の水準は妥当か。 0 すためのものであり、妥当である。 効 率性 資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。 交付要綱にて、各事業ごとに対象経費が定められている。 費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。 0 |不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載) |繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載) その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。 成果目標において、達成目標に向けて全国課長会議等を通 |成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。 <u>じて事業実施の働きかけを要請している。</u> 業 |事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果 の ▋的あるいは低コストで実施できているか。 有 活動実績は見込みに見合ったものであるか。 0 ほぼ見込みに近い活動実績となっている。 効 性 整備された施設や成果物は十分に活用されているか。 |関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役 |割分担の具体的な内容を各事業の右に記載) 事業番号 事業名 所管府省名 連 事 業

点検・お		低所得者に対する介 成果実績の保険者数 る。							或したが、 9年4月1日時点)であ		
· 善結果	・本事業は社会福祉事業の実施を任務としている社会福祉法人が低所得者の介護保険サービスの利用促進の観点から利用者負担軽減を促進することを目的とし、その趣旨を踏まえると、すべての地域において低所得者が介護保険サービスを利用できるよう体制を整備することは重要であり、本事業の必要性は明確である。今後も施策のさらなる推進を図ることとする。										
外部有識者の所見											
	<u> </u>			行政事業	と レビュー推進チー	-ムの所見					
				所見を踏まえた	改善点/概算要求	における反映も	犬況				
					備考						
				関連する過	量去のレビューシート	の事業番号					
平成2	2年度 539		平成23年度	491		年度 435	24	成25年度	822		
	6年度 823	TI do ,	平成27年度	834	平成28	年度 802	711	成29年度	802		
資 資先い	金の の何の何の何の何の何の何の何の何の何の何の何の何の何の何の何の何の何の一個である。	※平成30年度実績を記 〇負担割合 国・・・50% 都道府県・・・25% 市町村・・・25%	%	社会社	厚生労働名	会 決定額) 補助金等交付】					

		A.札幌市		B.					
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)			
#5 ***	補助金	社会福祉法人等により生計困難者に対する 利用者負担額軽減制度事業等	28						
費目・使途 (「資金の流れ」に									
おいてブロックごとに最大の金額									
が支出されている 者について記載									
する。費目と使途の双方で実情が									
分かるように記									
載)									
	計		28	計		0			

支出先上位10者リスト

Δ

A.								
	支 出 先	法 人 番 号	業務概要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	札幌市	9000020011002	社会福祉法人等により生 計困難者に対する利用者 負担額軽減制度事業等	28	補助金等交付	-	_	-
2	静岡市	8000020221007	社会福祉法人等により生 計困難者に対する利用者 負担額軽減制度事業等	20	補助金等交付	I	_	_
3	浜松市	3000020221309	社会福祉法人等により生 計困難者に対する利用者 負担額軽減制度事業等	18	補助金等交付	I	_	-
4	釧路市	7000020012068	社会福祉法人等により生 計困難者に対する利用者 負担額軽減制度事業等	17	補助金等交付	-	_	-
5	大阪市	6000020271004	社会福祉法人等により生 計困難者に対する利用者 負担額軽減制度事業等	15	補助金等交付	-	_	-
6	横浜市	4000020024066	社会福祉法人等により生 計困難者に対する利用者 負担額軽減制度事業等	14	補助金等交付	ı	_	_
7	帯広市	7000020012076	社会福祉法人等により生 計困難者に対する利用者 負担額軽減制度事業等	14	補助金等交付	-	_	_
8	京丹後市	4000020262129	社会福祉法人等により生 計困難者に対する利用者 負担額軽減制度事業等	9	補助金等交付		_	_
9	松江市	3000020322016	社会福祉法人等により生 計困難者に対する利用者 負担額軽減制度事業等	9	補助金等交付	_	_	_
10	那覇市	3000020472018	社会福祉法人等により生 計困難者に対する利用者 負担額軽減制度事業等	8	補助金等交付		_	_